

■ 肥料表示・含有肥料成分

●本製品は特殊肥料に分類されます。

肥料の名称	特殊肥料用「えひめAI-1」
肥料の種類	たい肥
届け出をした都道府県	愛媛県
原料	水、精糖蜜 備考1：生産に当たって使用された重量の大きい順である。 備考2：腐熟を促進するため酵母、乳酸菌、納豆菌を使用したものである。
主成分の含有量等	窒素全量：0.5 % 未満 リン酸全量：0.5 % 未満 加里全量：0.5 % 未満 炭素窒素比：21

●窒素、リン酸、カリウムの具体的含有量は以下の通りです。

全窒素：約 350 ～ 500 mg/l
全リン：約 30 ～ 40 mg/l
カリウム：約 1700 ～ 2500 mg/l

●有機栽培のための資材証明が発行できます。



東レコムズのえひめ^{あいichi}AI-1[®]は、JAS認定機関OCO(オーガニック認定機構)にてJAS規格における有機資材として適合の認定を取得しています。
資材証明が必要な場合は、弊社までご連絡ください。

■ 商品ラインナップ

1L

希望小売価格
¥1,800- 税別
(税込¥1,980-)

2L

希望小売価格
¥2,600- 税別
(税込¥2,860-)

5L

希望小売価格
¥6,000- 税別
(税込¥6,600-)

10L

希望小売価格
¥11,000- 税別
(税込¥12,100-)

18L

希望小売価格
¥18,000- 税別
(税込¥19,800-)

【製造・販売元】

東レコムズ愛媛株式会社
〒791-3191 愛媛県伊予郡
松前町筒井1515番地
東レ愛媛工場内
TEL (089)984-0079(代表)



とうれこむずえひめ

URL <https://www.coms.toray/ehime/>

【ご注文・お問合せ先】



えひめ^{あいichi}AI-1を使った
土づくり
作物づくり

- ・作物が元気に育つ健康な土づくりに
- ・根張りが良い元気な作物づくりに
- ・作物に勢いが無いときに
- ・堆肥の発酵促進に

特殊肥料（活力剤）としての
灌注または葉面への散布の使用例

比較対照 AI-1使用

〈結果〉
根が良く張り、
実の入りが良い
野菜が育ちまし
た。

比較対照 AI-1使用

〈条件〉
7～10日おきに500倍希釈液を灌水しました。

堆肥づくりでの発酵促進の使用例
固形物分解の比較（仕込後12日目）

AI-1なし (比較対照) AI-1使用

〈結果〉
1. 発酵促進
2. 発酵温度の良
好な立上がり
3. 発酵中の臭気
の低減

固形物が細かく分解されているのが確認できます。

えひめ^{あいichi}AI-1 は化学薬品を一切使用しておりません



サトウキビから採れた精糖蜜を栄養源に
パン酵母・乳酸菌・納豆菌を培養した
自然環境や生態系にやさしい微生物資材です。

JAS規格の有機資材に適合していますので
有機栽培にもご使用いただけます。

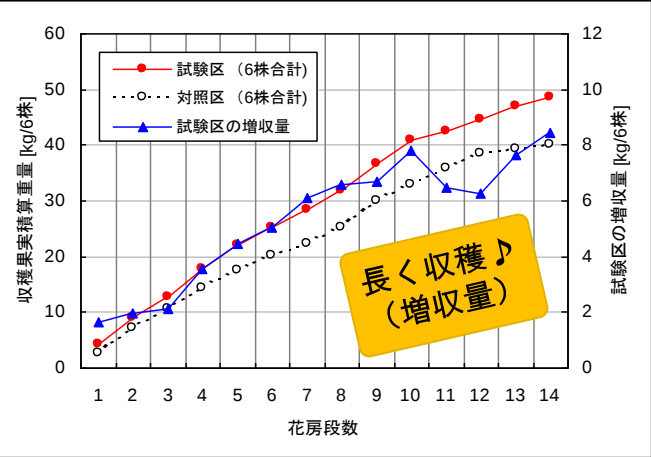
基本的な使用量および使用にあたっての注意点は製品に添付の取扱説明書をご参照ください。

東レコムズ愛媛株式会社



栽培事例 1

えひめAI-1を使用した堆肥で
トマトを栽培しました。



1. 収穫量の比較

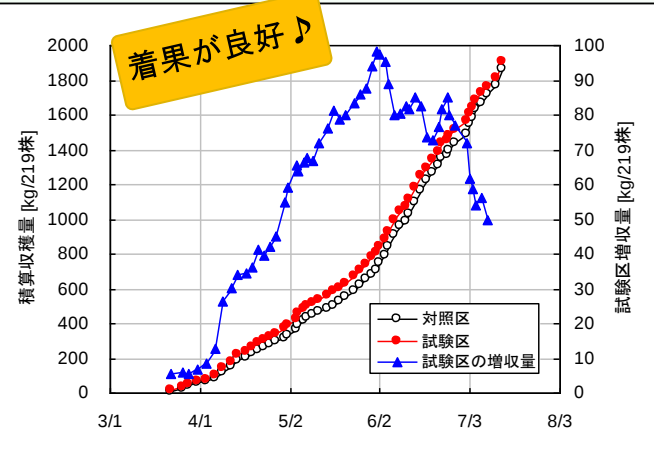


2. 発根状態の比較 (収穫後)

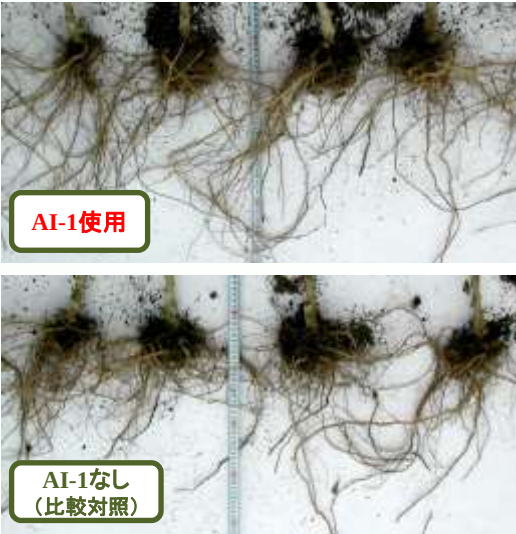
<試験条件> 試験環境 : ハウス栽培
n数 : 試験区/対照区 各6株
えひめAI-1 : AI-1を使用した堆肥を施肥
灌水毎に1000倍液を灌水

栽培事例 2

えひめAI-1でナスを栽培しました。



1. 収穫量の比較



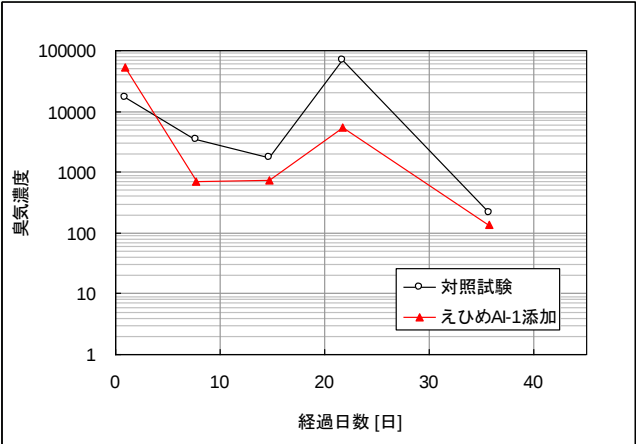
2. 発根状態の比較 (収穫後)

<試験条件> 試験環境 : ハウス栽培
n数 : 試験区/対照区 各219株
えひめAI-1 : 週1回 1000倍液を灌水
(AI-1灌水時以外は通常の灌水)

えひめAI-1を使った堆肥づくり

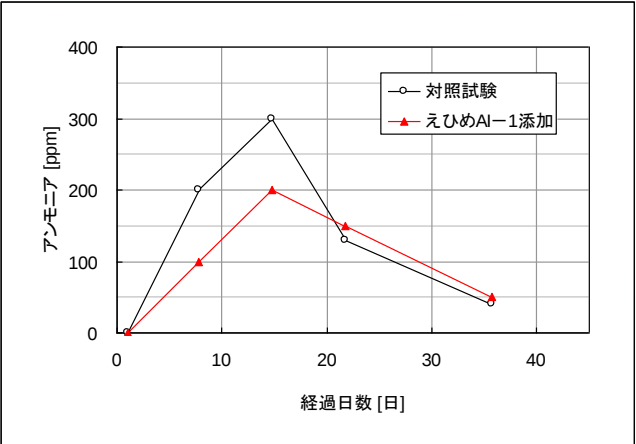
えひめAI-1を堆肥原料に混ぜ込むと、発酵中の臭気軽減、発酵促進効果などが期待できます。

<試験条件> 堆肥原料 : 社員食堂生ゴミ (15L/11.24kg)
水分調整材 : オガクズ (15L/ 1.90kg)
発酵容器 : 45Lポリバケツ
えひめAI-1 : 仕込時・・・生ゴミ容積に対して0.5%を生ゴミに混合
8日目・・・水分調整時に仕込時の1/2量を添加



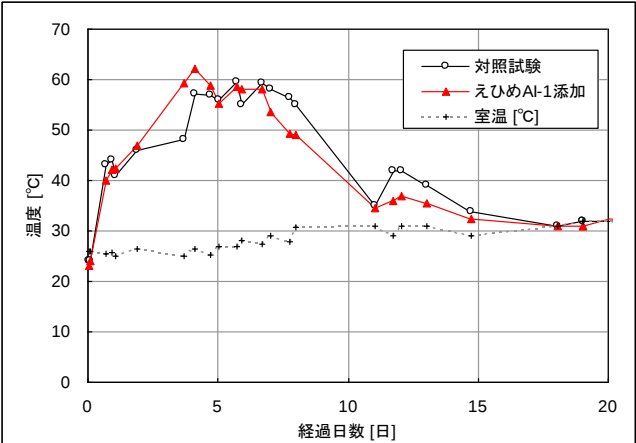
1. 堆肥発酵中の臭気濃度

(環境庁告示63号に準じる 3点比較式臭袋法にて試験容器ヘッドスペースガスを測定)
臭気濃度とは : 試料気体の臭気が嗅覚によって感知できなくなるまで希釈し、このときの希釈倍率を臭気濃度という。

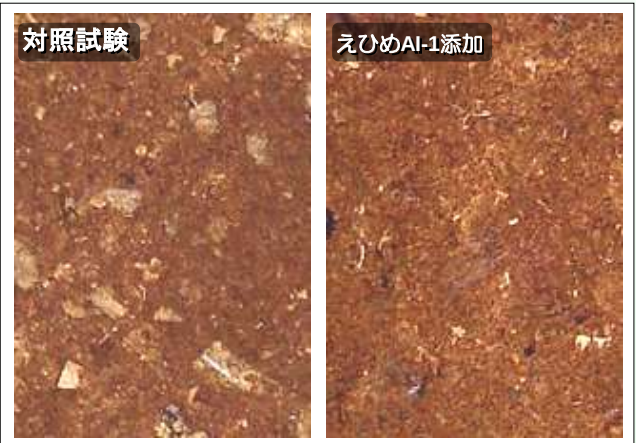


2. 堆肥発酵中のアンモニア濃度

(ガステック検知管No.3MIにて試験容器ヘッドスペースガスを測定)



3. 堆肥発酵中の温度推移

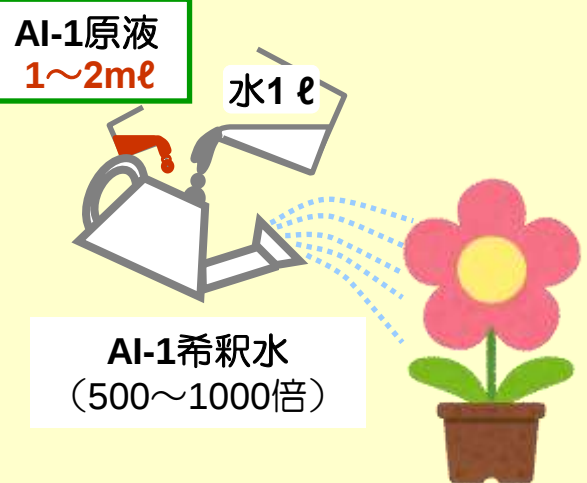


4. 固形物分解の比較

(仕込後12日目)

作物の栽培に

原液を500～1000倍に希釈して
水やり・葉面散布します。



灌注、葉面散布

面積	原液として	施用方法
1 m ²	0.2 ～1 ml	500～1000倍希釈液として定植期、生育旺盛期に10日毎程度の頻度で施用
1 反	0.2 ～1 L	

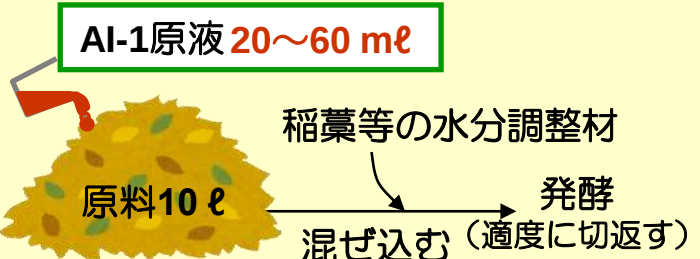
(灌注について)
希釈液を適量灌注してください。

(葉面散布の施用量について)
希釈液を葉面全体が均一に濡れる量を施用してください。
草体の大きさ、葉の形状・付き具合、定植密度などで散布量は変動しますので適宜加減してください。

堆肥作りに

使用方法

水分調整前の堆肥原料10 Lに対してAI-1を
20～60 ml (0.2～0.6%) 混ぜ込みます。



ここがポイント！
堆肥作りは、水分調整と切返しがポイントです。
水分調整：ワラ、籾殻、オガクズ等を混ぜ込みます。
(手で握って水分が1～2滴出る程度が適量)
切返し : 堆肥の発酵には空気が必要です。
10日に1回程度切返しをしましょう。

土づくりに

圃場への散布

面積	原液として	施用方法
1 m ²	20 ml	播種または定植前の2週間程度の時期に10～50倍程度の希釈液として施用
1 反	20 L	

(土づくりでの使用について)
・希釈倍率は、散布しやすい量に適宜加減してください。
・作物の播種・定植は、AI-1散布後2週間以上あけてから行ってください。

